

第4章 快適で安全な生活環境をつくる

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

地籍調査実施予定地区

- 調査：和泉地区(日光地域)
- 測量：上三依地区、中三依地区(藤原地域)



まちづくり交付金事業
JR日光駅前広場の完成予想です。



文挾駅周辺整備事業
平成17年度に整備されたJR文挾駅の東側駐車場です。

◆総合的・計画的な土地利用の推進

1. 地籍調査事業費

887 万円

農林課

地籍調査は国土法に基づき、市が主体となって一筆ごとの土地の所有者や地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量するものです。

◆地域の個性を生かした景観の整備保全

1. まちづくり交付金事業費(世界遺産・門前町地区)

2 億 6,869 万円

建設課(日光総合支所)

日光地域の東町、西町地区において、世界遺産「日光の社寺」を有する国際観光文化都市として「住んでよし・訪れてよし」のまちづくりを、皆さんと協働で実践しています。今年度は、市道日 32126 号線(安川町地内)、日光杉並木街道、JR日光駅前広場、市道日 32136 号線(山内地内)、東町観光拠点施設(駐車場など)を整備します。

2. 街なみ環境整備事業費

2,179 万円

建設課(日光総合支所)

歩く観光地を目指して、回遊性のあるまちづくりを推進するため、日光地域において国道 119 号の歩道整備と一体となった街なみ整備を行います。これにより、市民生活の向上や国際観光都市としての活性化を図ります。今年度は、稲荷町防災公園などの整備を行います。

3. 文挾駅周辺整備事業費

350 万円

建設課

JR 文挾駅周辺を定住者や交流者との出会い空間、地域のおもむきや誇り、愛着を醸成する空間とするため、緑地や駅前広場などを整備します。これにより、鉄道を生かしたまちづくりの拠点として、地域の活性化を図ります。

4. まちづくり交付金事業費(清滝地区)

1 億 7,159 万円

建設課(日光総合支所)

清滝地区において、安全・安心・快適で住みやすく、にぎわいのあるまちづくりを目指して、道路や公園などの都市施設を整備します。今年度は、市道日 22031 号線(清滝地内)などの整備を行います。

◆道路・交通網の整備

1. 地方特定道路整備事業費

5,579 万円

建設課

地域振興のために必要な道路を改良する事業です。今年度は、今市地域の市道森友～芹沼線と倉ヶ崎～長嶋線を整備します。

2. 特定交通安全施設整備事業費

3,222 万円

建設課(日光総合支所)

交通バリアフリー基本構想に基づき、歩道整備を実施します。高齢者や障がい者などの歩行安全に配慮しつつ、日光地域の東町観光拠点施設(駐車場など)への連絡道路として、市道日14017号線(全長100m、幅18m)を整備しています。

3. 市単道路改良事業費

7,500 万円

建設課ほか

市が単独で行う道路改良工事です。今市地域は下猪倉～宇都宮線ほか5路線の工事、また、3路線の測量・設計などを予定しています。藤原地域は市道藤33082号線(大原地内)の工事、足尾地域は市道足305001号線(都沢線)の測量設計および工事、栗山地域は市道栗10155号線(馬坂線)の工事を行います。

4. 市単舗装新設事業費

2,500 万円

建設課

市が単独で行う道路舗装工事です。3級～5級市道や認定外道路の舗装などを行う予定です。

5. 地域再生基盤強化交付金事業費

3億5,902万円

建設課ほか

この事業は、地方公共団体が行う地域再生を総合的に推進し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目的として、平成17年度に創設されました。市ではこれを活用して、安全で便利な道路網を計画的に整備し、快適な生活環境を確保します。

6. 道路修築費

1億1,071万円

維持管理課

全長で約1,377kmある市道を維持するための費用です。傷んだ舗装の改修などを行い、市道の安全確保を図ります。

7. 橋りょう維持補修費

2,294 万円

維持管理課ほか

市内にある橋りょうの補修を行います。



地方特定道路整備事業
現在整備中の市道森友～芹沼線です。

地域再生基盤強化交付金事業

今年度の主な内容

- ①今 35220 号線〔大谷川左岸線〕
平成16～22年度継続、全長3,500m、幅11m、道路改良工事
- ②今 2040 号線〔水無～明神線〕
平成15～22年度継続、全長1,160m、幅10m、道路改良工事
- ③今 1009 号線〔本町～猪倉線〕
平成18～22年度継続、全長2,800m、幅7m～、舗装補修工事
- ④今 2031 号線〔東町～小倉町5丁目線〕
平成18～20年度継続、全長230m、幅11m、道路改良工事
- ⑤藤 2002 号線
平成12～20年度継続、全長90m、幅6(10)m、道路改良工事
- ⑥足 314002 号線〔砂畑線〕
平成17～20年度継続、全長72m、幅5m、橋りょう架替工事



都市計画街路整備事業
現在整備中の千本木～小倉町線です。



地方鉄道等支援事業
わたらせ渓谷鐵道のトロッコ列車。野岩鐵道やわたらせ渓谷鐵道では年間を通して、さまざまなイベントを開催しています。

有償自家用バス運行路線

足尾地域

- 双愛病院～赤倉（一部、銅親水公園入口）～遠上～双愛病院
- 双愛病院～JR日光駅
- 双愛病院～唐風呂

栗山地域

- 女夫淵～青柳車庫前
- 青柳車庫前～鬼怒川温泉駅



公共下水道建設事業
布設された下水道管。今年度に実施予定の主な地区は次のとおりです。
○ 今市地域…瀬川、杉ノ沢、大桑、栗原地区
○ 日光地域…清滝地区
○ 藤原地域…柄倉地区

8. 都市計画街路整備事業費

3,960 万円

建設課

国道や県道と市道を結ぶ環状道路網をつくり、市街地への交通利便性や安全性を高めるために都市計画街路を整備します。今年度も引き続き、今市地域の千本木～小倉町線(平成13～19年度継続、全長461.5m、幅16m)の整備を行います。

9. 地方鉄道等支援事業費

3,162 万円

総合政策課ほか

地域住民の貴重な交通手段として、また観光路線として営業を行っている野岩鉄道およびわたらせ渓谷鐵道に対して、安定した経営が図れるよう支援します。

10. 生活路線バス対策費

5,623 万円

生活安全課

廃止された民間路線バスの路線区間を、代替路線バスとして運行します。そのほか、日常生活に不可欠な民間路線バスについて、民間バス会社に運行費を助成します。

11. バス事業管理費

5,416 万円

市民課(足尾・栗山総合支所)

足尾地域および栗山地域において、地域の皆さんの交通手段を確保するため、廃止された民間路線バスの路線区間を、有償自家用バスとして運行します。

◆上・下水道の整備

1. 浄化槽設置整備事業費

8,347 万円

下水道課

浄化槽設置の補助金制度を設け、普及促進を図っています。

2. 公共下水道建設事業費

3 億 1,521 万円

下水道課

下水道整備計画に基づき国の認可を受け、認可区域内の下水を排水するため、汚水排水管布設工事を行います。

3. 鬼怒川上流流域下水道事業負担金

3,412 万円

下水道課

家庭からの排水を処理する、流域下水道処理施設を整備する負担金です。

4. 特定環境保全公共下水道建設事業費

3億8,331万円

下水道課

中宮祠・湯元水処理センター、川治水処理センター、湯西川水処理センターから排出される汚泥を処理する、栃木県下水道資源化工場を建設するための負担金です。今年度は、川治水処理センターの整備が重点的に行われます。

5. 浄化槽建設事業費

900万円

下水道課(藤原総合支所)

湯西川ダム建設事業にかかる西川地区の移転代替地に浄化槽を設置し、生活環境の向上を図ります。

◆住環境の整備

1. 分譲地対策事業費

2,296万円

都市計画課

昭和50年以前に開発された分譲地において、道路などの公共的施設敷地の市有化を進めるとともに、分譲地内道路などの維持管理を行う分譲地管理委員会にその費用の一部を助成します。

2. 駅間JR今市土地区画整理事業費

6,434万円

都市計画課

JR今市駅から国道119号、121号に接する商業地域と住居地域(14.2ヘクタール)の区画整理事業を行っています。今年度は、区画道路の新設など公共施設の整備を行います。

3. 駅間東武下今市駅周辺まちづくり基本構想策定事業費

400万円

都市計画課

駅間JR今市土地区画整理事業地区から国道119号を挟み、東武下今市駅までの駅間道路および周辺地域について、まちづくり整備に関する基本構想を策定します。

これにより、次代を見据えた秩序ある、コンパクトなまちづくりを目指します。

4. 倉ヶ崎住宅建設事業費

4億2,774万円

建設課

老朽化した倉ヶ崎住宅を建て替えるため、平成17年度に整備に着手しました。今年度は、1号棟、2号棟の建設工事を行います。



駅間JR今市土地区画整理事業
区画整理事業で整備されたJR今市駅前広場です。



倉ヶ崎住宅建設事業
現在建設中の1号棟です。



高齢者住宅等安心確保事業

今市地域にある豊田市営住宅。高齢者が安心して暮らせるシルバーハウジング機能を備えています。



はしご付消防自動車購入

ビルなどの高い場所での消火・救助活動に、画期的な機動性を発揮します。

更新予定の消防団車両

- 日光消防団第5分団(湯元)
- 日光消防団第6分団(野口)
- 足尾消防団第2分団第1部(掛水)
- 藤原消防団第5分団第2部(仲町2区)
- 藤原消防団第7分団第4部(横川)

建設予定のコミュニティ消防センター

- 今市第1分団第7部(平ヶ崎・原町・中平町・平町・緑町)
- 藤原地域 第6分団第4部(鶏頂山)
- 栗山地域 第3分団第2部(川俣温泉)

5. 高齢者住宅等安心確保事業費

267 万円

厚生福祉課

高齢者が生活面や健康面で不安を抱かず、安心して暮らすことができるように、高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)に生活援助員(L S A=ライフサポートアドバイザー)を派遣します。これにより、安否の確認や生活相談、一時的な家事の援助、緊急時の対応などのサービスを提供します。

◆消防・防災・防犯・交通安全体制の整備

1. 用水路整備事業費

1,505 万円

維持管理課

市街地を流れる用水路において、大雨の際に水があふれる恐れのある個所を整備します。

2. はしご付消防自動車購入費

1 億 9,405 万円

消防本部

藤原消防署に昭和52年に配備した、はしご付消防ポンプ自動車は老朽化が著しいため、車両を更新します。世界文化遺産および温泉ホテルなどが林立する日光・藤原消防署の中間ポイントに位置する今市消防署に配備します。

3. 水槽付ポンプ自動車購入費

7,107 万円

今市・日光消防署

今市消防署および足尾分署に配備した消防ポンプ自動車は老朽化が著しいため、車両を更新します。

4. 消防ポンプ自動車購入費

5,792 万円

日光・藤原消防署

老朽化した消防団の消防ポンプ自動車や小型動力ポンプ積載車を更新します。

5. コミュニティ消防センター建設事業費

8,314 万円

消防本部

コミュニティ消防センター(分団詰所、車庫)を新築します。

6. 防火水槽新設費

2,200 万円

消防本部

防火水槽を4基設置して、火災から皆さんの生命と財産を守ります。

7. 自主防災組織育成費

426 万円

総務課

市内には、地域や自治会を単位として、自主防災会が組織されています。災害に備え、日ごろから自主的に防災訓練や防災用資機材の点検、整備を行い、地域の防災活動の中心となる組織です。市では、自主防災組織の設立時に防災用資機材を支給し、その後の活動に対しても助成を行っています。

8. 防災対策事務費

640 万円

総務課

災害に備え、防災用資機材や備蓄品の購入、維持管理を行います。また、災害情報収集のための通信網の整備や土砂災害通報システムによる情報提供、避難先や避難場所を分かりやすくするための標識設置なども行います。

9. 湯西川分署整備事業費

4,500 万円

消防本部

湯西川ダム水源地域整備事業の一環として、湯西川分署を新築するための実施設計などを行います。

10. 安全で安心なまちづくり事業費

396 万円

生活安全課

各地域で活動している「安全安心パトロール隊員」の損害保険料を負担します。また、「安全で安心なまちづくり推進市民大会」を開催し、防犯に対する意識を高める普及活動を行います。

11. 防犯対策費

2,042 万円

生活安全課

各自治会が管理している防犯灯について、電気料や更新費用を助成します。そのほか、防犯協会の活動費を助成します。

12. 大沢小学校スクールバス運行費

223 万円

学校教育課

昨年度に試行した下校時のスクールバス運行について十分に検証し、あらためてスクールバス運行のあり方を検討しながら、実施していきます。

13. 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費

86 万円

学校教育課

全17中学校区ごとに1名のスクールガードリーダーを配置します。地域の見守りボランティアのリーダーとして活動してもらうことで、児童の登下校などの安心・安全を確保します。



自主防災組織育成

現在、市内には155の自主防災組織があり、日ごろから地域防災のために活動しています。



安全で安心なまちづくり事業

地域のボランティアの方が安全安心パトロール隊員として、児童・生徒の登下校を見守っています。



大沢小学校スクールバス運行

今年度は、今後のスクールバスのあり方について検討します。



交通安全施設等整備事業
交通事故防止のため、昨年度に設置されたガードレールです。



消費生活センター運営
消費生活センターは、オアシスセンタープラザ1階にある市民サービスセンターに併設されています。

14. 交通安全対策事業費

404 万円

生活安全課ほか

交通安全運動や啓発活動を行うための費用です。「交通安全県民総ぐるみ運動」や「安全で安心なまちづくり推進市民大会」、あらゆる世代に対応した「交通安全教室」を開催して、交通安全意識を高めます。

15. 交通安全施設等整備事業費

1,535 万円

維持管理課ほか

道路の安全性を高めるための費用です。カーブミラーやガードレール、道路標識などを設置して、交通事故防止を図ります。

16. 不審者情報メール配信事業費

12 万円

学校教育課

メール配信登録している保護者や関係機関に、警察署や学校からの不審者情報をすばやく提供し、危機管理の一助としています。

◆消費生活の向上

1. 消費生活センター運営費

480 万円

生活安全課

悪質な訪問販売や通信販売などが後を絶ちません。消費生活センターでは、消費者からの相談や苦情に対応するとともに、悪質商法の被害を未然に防ぐための講習会や啓発活動、資料の展示などを行っています。それらの業務を行う運営費です。

◆地域情報化の推進

1. 電子自治体推進事業費

1 億 3,016 万円

行革・情報推進課

市役所事務の I C T (情報通信技術) 化を進めるための費用です。事務に必要な情報をすばやく収集し、事務作業を確実かつ迅速に行えるようにします。

◆湯西川ダム建設に伴う水源地域の生活環境、産業基盤等の整備及び支援

1. 湯西川ダム水源地域整備事業費

1,200 万円

建設課(栗山総合支所)

湯西川ダム建設にかかる関係者の生活機能を確保するため、移転代替地に市道を整備し、関係住民の生活環境の向上を図ります。

2. 湯西川診療所整備事業費

1億3,200万円 健康福祉課(栗山総合支所)

湯西川地区に健康管理の基盤となる診療所を整備し、地域住民の健康的な社会生活を支援します。

3. 湯西川地区農産物生産施設整備事業費

9,011万円 観光経済課(栗山総合支所)

湯西川地区に夏秋いちごの生産施設を整備し、地域住民の活力ある地域づくりと安定した雇用の向上を図ります。

4. 林業拠点施設整備事業費

8,900万円 観光経済課(栗山総合支所)

湯西川地区に林業拠点施設を整備し、都市圏に住む住民との交流を図る場として、積極的に活用します。

5. 西川自然公園整備事業

2,720万円 観光経済課(栗山総合支所)

西川地区に遊歩道を整備し、水源地域の観光振興と地域の活性化を図ります。

6. 湯西川地区ほ場整備事業費

5,410万円 観光経済課(栗山総合支所)

湯西川下地区に農業生産の基盤である農道を整備し、地域住民の安定した農業生産の向上を図ります。

7. 湯西川下地区温泉給湯整備事業費

3,000万円 観光経済課(栗山総合支所)

湯西川下地区に温泉給湯施設を整備し、地域住民の福祉の向上と健康増進を図ります。

湯西川ダム建設事業によって整備された主な施設



湯西川小中学校



道の駅湯西川、湯の郷湯西川観光センター



湯西川コミュニティセンター